

12

Capture

12 章 次年度開始処理

次年度開始処理.....	2
1. 次年度開始処理	2
2. 次年度開始処理（再）	4

次年度開始処理

年度を更新して、新しい年度の仕訳入力を開始するための処理です。

※処理を行う前に必ずバックアップをお取りください。

1 次年度開始処理

決算処理メニュー ⇒ 次年度開始処理

※次年度開始処理は、拠点毎に行います。

1. 年度を更新する拠点区分を選択し **次へ** をクリックします。

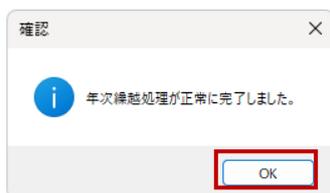
2. 当年度と次年度の年が間違っていないか、必ずご確認ください。
3. 「年度更新する」のチェックボックスを ON にし **実行** をクリックします。

4. 確認メッセージが表示されます。

次年度開始処理後の前年データの登録、編集は可能ですが、2 年前のデータは修正ができなくなります。(参照は可能です。) また、前年の修正をおこなった場合、翌年への繰越も反映されます。

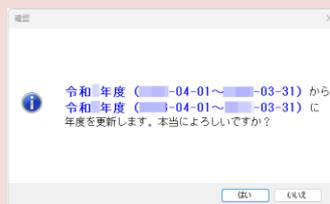
問題がなければ、 **はい** をクリックします。

5. 完了のメッセージが表示されたら次年度処理完了です。 **OK** をクリックします。



注意 以下のメッセージが表示された場合

次年度開始処理を行う拠点を選択し、**次へ** をクリックした後、以下のメッセージが表示された場合は、既に年次更新済みの可能性があります。年度をご確認ください。



補足

次年度開始処理を行うことにより、前年の科目が翌年に複写され、前年の残高や実績が翌年に反映されます。次年度開始処理後に前年の科目設定を修正されると、整合性が取れなくなる可能性があります。

※修正が必要な場合、当社へご連絡ください。

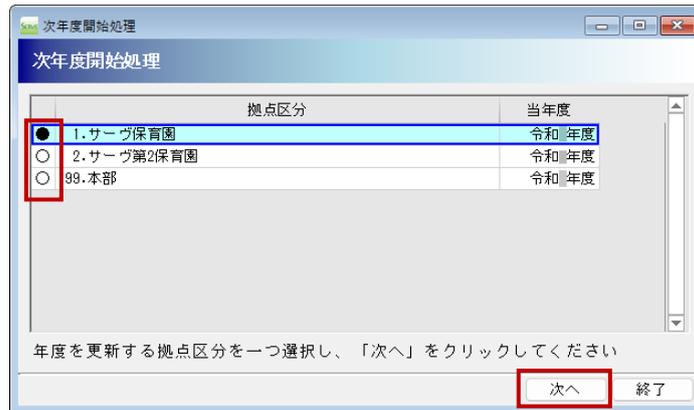
2 次年度開始処理（再）

決算処理メニュー ⇒ 次年度開始処理

次年度開始処理の後、特殊な事情で科目の修正を行った場合、繰越が繋がらない場合は再年次更新が必要です。

※ **必ず弊社サポートにご連絡ください。**

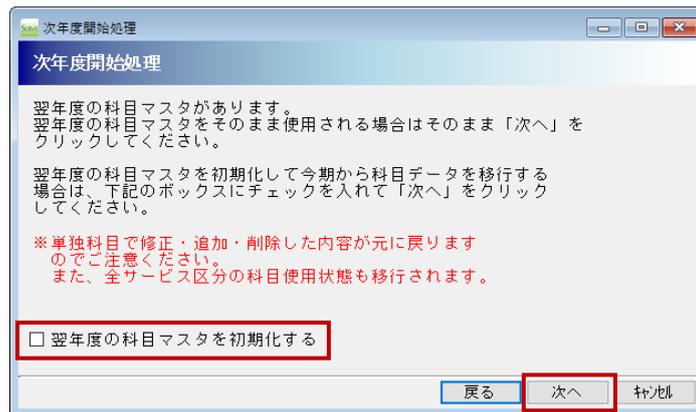
1. 初期設定メニューの『拠点区分マスタ』画面で、該当する拠点の[処理年度]を前年度に修正します。
2. 年度を更新する拠点区分を選択し **次へ** をクリックします。



3. 再度年度開始処理をする時は、翌年度にすでに科目マスタのデータが存在します。状況に応じて、「翌年度の科目マスタを初期化する」のチェックボックスを ON にするか否かを確認します。

チェックボックス ON にする場合	翌年度に仕訳や予算データがない場合。 (年度更新をしすぎて年度を戻した時なども、この作業になります。)
チェックボックス OFF にする場合	翌年度で仕訳や予算データなど、すでに通常使用している場合。 ON にすると翌年度で追加・削除している科目が、前年度の科目データに書き換わります。

4. チェックボックスを確認し **次へ** をクリックします。



5. 当年度と次年度の年が間違えていないか確認します。
6. [科目マスタ]の設定が正しいか確認します。

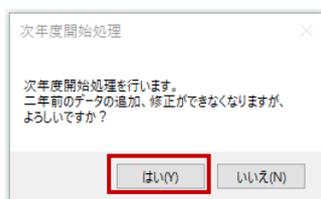
更新する	前年度の科目マスタデータに書き換えます。
更新しない	翌年度の科目マスタデータはそのままです。

7. 内容に問題がなければ「年度更新する」のチェックボックスを ON にし、 **実行** をクリックします。



8. 確認メッセージが表示されます。

次年度開始処理後の前年データの登録、編集は可能ですが、2年前のデータは修正ができなくなります。(参照は可能です。) また、前年の修正をおこなった場合、翌年への繰越も反映されます。
問題がなければ、 をクリックします。



9. 完了のメッセージが表示されたら次年度処理完了です。 をクリックします。



注意 翌年度の仕訳登録等がある状態で科目マスタを初期化した場合

翌年度に仕訳や予算データがある状態で、「翌年度の科目マスタを初期化する」にチェックを入れて年度更新を実行しても、仕訳データ等が削除されるわけではありません。

ただし、仕訳で使用していた科目が前年度に存在していなかった場合(翌年度で追加した科目)など、試算表等など正しい金額が表示されなくなる可能性がありますのでご注意ください。